

仲間づくり
 生きがいくくり
 大好きひたちづくり
 シニアライフを
 豊かに生きるために

熟年



熟年ネット・ひたち

女性センター祭り2010

日頃の活動状況展示

去る10月16、17日の両日、「女性センター祭り」が開催され、J-netは17日に9度目の出展をした。
 私達の活動について理解を深めてもらうため、日頃の活動状況を13項目にわたって掛図や実演でありのまま紹介した。多種多様のボランティア活動をしていることに、来場者の関心が寄せられた。
 なお、当会の会員は実行委員、広報、記録写真など各種役割を担当し、女性センター祭りに協力することができた。



展示内容

展示は例年とおり、4階の会議室を使って、J-net 本体4項目と9自主グループの活動状況を資料や写真をとおして体系的にパネル展示、紹介した。
 来訪者が見易いように窓側に一列にならべるなど、配置についても工夫をこらした。

J-net 本体の活動紹介

- ☆活動の基本について
- ☆楽習会
- ☆シニア地域入門講座
- ☆広報(会報・ホームページ)

自主グループの活動紹介

- ☆ハーモニーフレンズ
- ☆ひたちおもちやの病院
- ☆J-net・オカリナハート
- ☆グループ・ピニオン
- ☆なるてす会(バザー)
- ☆J&B(おもちやライブラリ)
- ☆郷土ひたち・ネット
- ☆ウオーク会
- ☆河原子海岸清掃

実技・実演内容

おもちゃの修理・実演

当日の修理依頼は1件のみであり、即修理完了したが、過日行われた百年塾フェスタ時での修理待ちが27件もあり、これらの数件を持ち寄り実技を披露しながら修理を行なった。
 「アンパンマンパソコン」が動作しない、「ぬいぐるみ人形」の声が出ない、「ブラレール電車」が動かないなど症状も故障原因もさまざまで、修理不能のものもあったが、他はドクター同士協力しあって、殆ど修理完了あるいは完了の目途をつけることができた。

オカリナ演奏

オカリナ演奏は午前と午後の2回演奏した。多くの方がその音色に聴き入り、一緒に歌い楽しんだ。特に、午後の演奏ではアンコールが出るなど盛り上がった。

会員の祭りへの協力

J-net 会員は祭りの計画から実行まで各部署で協力した。藤本さんは実行委員として、畑山さんは広報でチラシ・ポスターの作成、藤本・岩本さんは記録写真の撮影、鳥海さんは餅つきをそれぞれ担当した。また、趣味のグループで多数の会員がそれぞれ発表した。

おもちゃの病院 県社会福祉協議会長表彰

ひたちおもちやの病院は、10月25日開催の茨城県社会福祉大会で、「地域社会の福祉増進に貢献」したボランティア活動団体として県社会福祉協議会会長より表彰を受けた。おもちゃの病院は、日立市に5つの診療所を設け、おもちゃドクター23名が手分け協力しながら診療活動を継続し8年目になる。そのカルテは1200件にも達し、少なくとも1000人以上の子どもに喜びをプレゼントできた。しかしながら「病院のチラシを見てその存在に驚く人を見るとき、院の知名度はまだまだ」



表彰状

熱年ボランティア
 ひたちおもちやの病院 殿
 あなたは多年にわたりボランティア活動を続けられ地域社会の福祉増進に貢献されましたその功績はまことに顕著でありますので茨城県社会福祉大会において表彰します
 平成22年 10月25日
 県社会福祉協議会 会長 関 正夫



楽習会



お茶の話

(8/12)

お茶の始まりと武将の愛したお茶から女性のお茶へ、今後のお茶の進む方向まで伝統文化「茶道」のいろはについて、裏千家正教授丹藤宗紀氏にお話頂いた。

総合文化であるお茶の変遷を、限られた時間であったが要領よくお話頂き、お茶への興味を一層深くした。和歌や歴史上の固有名詞等も多く語られ、J-net 会員にはついて行くのに苦勞する人もいたが、侘び寂びの世界だけでなく闘茶や武士と茶道具の関係等「茶道」としての一般概念と違う面にも興味をそそられた。

休憩時間には、お弟子さん方に点てて頂いた一服を、作法の基本を伺いながら楽しんだ。会員外の参加もあり42名で盛況だった。(山野 邦雄)



続・鉄道の話

(9/30)

昨年の楽習会で好評だった元水戸駅長で歴史研究会の鈴木安氏に鉄道の話の続きをご講演頂いた。鈴木氏の指導で、天皇・皇后両陛下を駅にお迎えした時の一日駅長を参加者が演じるにより、雰囲気をもたせながら、駅長の業務を楽しくご紹介頂いた。

資料の「古代の駅(驛家(うまや))などについて」「写真で見える鉄道 100有余年の歴史」及び「鉄道の安全」などにより、日本の駅の始まりや古代の駅制から最近の鉄道(リニア・モーターカーの開発)まで、随所に関連の歴史を織り交ぜながらのお話は大変興味深く、今回も楽しいひと時だった。参加者24名。

(堀 三千男)



井戸端会議 (第4回)

(8/26)

会議はいつものように石井さんの指導により、老化防止の筋トレ体操で始まった。

テーマを決めずフリーに話し合うことが多い井戸端会議だが、今回は「市長と語ろう～まちづくり懇談会～」に参加する会員の要望で①地球温暖化対策(CO2削減、ゴミの減量化・資源化)②地域産業の振興(企業立地、農業、観光資源)について26名の参加者が4グループに分かれ話し合った。温暖化に関しては市民のモラルが重要、地域振興については日立市の長所短所を知り尽くしての振興策等数々の意見が出た。

テーマは大きく簡単に結論が出るものではないが、ときにはJ-netでもこのような話し合いをしても良いのではないかと。懇談会出席者を通じて今回の意見が市長に伝わる事を期待したい。(豊田 質朗)

記録映画鑑賞

(9/9)

日立市視聴覚センター所蔵の記録映画3本と日立映像コンクール受賞作品2本の映像鑑賞を行なった。「ふるさとの歴史と文化財」ではふるさと日立を再認識することができた。「日立駅前物語」では昭和初期の助川駅時代から変貌していく様子、特に大楠の移植とその後の姿や、シビックセンターの完成と現在の駅前の計画図まで、時代の流れに各人想いを巡らせていたようだ。金砂大祭礼での榎の顛末を紹介した「石名坂の大榎」、廃線となる日立電鉄に別れを惜しむ「ちん電の詩」の2作品はいずれも受賞作だけに力作だった。

最後に「オカリナハート8周年記念コンサート」の一部と日立環境フェスタでのケーナ演奏のビデオを上映して本会を終えた。参加者26名。

(藤本 欣正)



日立市の財政について

(10/7)

松本光弘財政課課長をお招きし「日立市の財政状況」についてお話を頂いた。

財政の意味、予算の編成手順と歳入・歳出の内容、税収の推移など基礎的な事柄から、本論である市の財政の現状まで詳しく伺うことができた。日立市は県内都市平均に比較し「市債残高比率」は低く、「積立金残高比率」は高く、また「財政力指数」「経常収支比率」「財政健全化判断比率」など財政に関する数値も良く、普通会計のバランスシートも純資産が負債の約3倍となっていて、現状は安心出来るとのことである。

しかし、健康体であっても夕張市のような状況に陥らないために、常に健全財政に向けた取組みを推進して頂きたい。我々市民も色々な面で積極的に協力して行く必要性を痛感した。多くの質問が出て会員の財政に対する意識の高さを認識した。参加者27名。

(桑名 勇児)



茨城新空港見学

(10/28)

茨城新空港では、朝の神戸便と昼の韓国便の離着陸に歓声をあげ、空き時間は、空港見学と御土産探し、得意の井戸端会議を楽しみました。

百里基地では、基地概要をビデオなどで説明を受けましたが、首都圏防衛の戦闘航空団、航空自衛隊唯一の偵察航空隊が所属しており、国を守る重要さ緊迫感、厳しさが強く伝わってきました。スクランブル出動は全国ペースではほぼ毎日あるとのことで、自衛の大切さを強く感じました。

雨での見学でしたが学ぶことの多い有意義な1日でした。

参加者26名。(加藤 勝)





ボランティア・自主活動



グループ・ピニオン 「しおさい夏祭り」を手伝う



10月7日に恒例の「しおさい夏祭り」が開かれ、いつものようにグループ・ピニオンに協力要請があり、都合のつくメンバーがヨー

ヨー釣り、輪投げ、わた飴、焼きそばなどの担当に分れてお手伝いをした。

入所されている方々に楽しい夏のひと時を過ごして頂くために開催されるもので、ご家族や周辺住民の方々も参加して余興、盆踊り、打ち上げ花火など趣向を凝らした出し物を楽しんだ。

また、8月23日から27日まで、デイサービスの方々を対象にミニ夏祭りが行われ、3日間だけカキ氷などのお手伝いをして大変感謝された。(桑名 勇児)

ウォーク会 みなさんも一緒に歩きましょう!

9月13日、「北茨城市五浦」周辺を散策した。漁業歴史資料館からスタート。大津漁港では、シラス漁船が入港していて、セリが始まるころだった。五浦岬公園から眺める朱色の六角堂は一見の価値があった。また、風船爆弾放流地跡では、当時の日本の窮状を推し量った。最後に漁業歴史資料館を見学した。

10月12日には里美「鍋足山トレッキング」を実施。今まで4回計画するも、ことごとく悪天候に見舞われ中止を余儀なくされたが、今回5度目の挑戦でやっと実現できた。「里美ふれあい館」からスタート、前日の雨で登山道はしっとり濡れていて冷気を感じ、気持ちよく歩くことができた。晴天に恵まれ頂上からの眺望は素晴らしかった。(山本 三男)



Jネット・オカリナハート 出前演奏が活発



「Jネット・オカリナハート」は、オカリナ演奏を目的としながら、グループ・ピニオンのメンバーとして福祉施設などを訪問して出前演奏を行うボランティア活動をしている。

8月は坂本小児童クラブと金沢弁天園の特養老人ホーム、10月は「女性センターまつり」での演奏。今後は11月のJ-netの芋煮会、12月の年末交流会に向けて夫々に新曲を取り混ぜたプログラムを計画し、練習に励んでいる。グループのモットーは「オカリナと一緒に歌ってもらおう」ことであり、演奏と歌う人が一緒に楽しむことにある。

新しいメンバーを募集しています。(小林 勇作)

J&Bグループ 親子で楽しんだ「夏まつり」

8月17日、おもちゃライブラリーの「夏まつり」を福祉プラザ大会議室で開催した。

しゃぼん玉で子どもたちを迎えた後のミュージックケアでは、体をくねくね動かしたり、鳴子や太鼓でトントンと上手に調子をとっていた。スタッフのオカリナ演奏に合わせ「うみ」「とんぼのめがね」などを大きな声で合唱。最後は、スタッフがチラシで作った魚で「魚釣りゲーム」を楽しんだ。釣った魚はコマとして遊ぶことができ、早速コマ回しに興じていた。「釣った魚」と夏にふさわしい「折り紙の金魚」をプレゼント、お母さんたちも大変喜んでくれた。スタッフ、親子ともども楽しいひと時だった。(山本 三男)



おもちゃの病院 秋のイベント診療予約続々

「百年塾フェスタ 2010」が10月3日に開催され、マーブルホールのおもちゃ病院コーナーとして参加した。

今回は開診早々からお客さんがあり午前中に十数件を受付け、ドクター5人の診療活動は右往左往。午後からも引続き大盛況で合計32件を受付、その内5件を修理した。残りの27件はドクター所属の診療所に入院診療となった。

今秋のイベント診療では11月中旬まで4回の予定があり、うれしい悲鳴を上げている。また、子どもたちの喜ぶ顔が益々増えていることを思えば「やりがい・生きがい」を実感してうれしくなる。



(小林 勇作)

郷土ひたち・ネット 小平浪平翁生家を訪ねる旅

10月15日、(株)日立情報制御ソリューションズ主催で標記の旅が行われ、日立青年会議所会員26名が参加し、掛札が案内役として同行した。

往路のバス車中で『日立村物語』の解説を行い、到着後日立アプライアンス(株)栃木事業所を見学、午後小平翁長兄の孫、小平道彦氏の案内で生家を訪問。小平翁が17歳の時に描いた美人画などを拝見して往時を偲んだ。帰途の車中で青年会議所の皆さんから「小平翁を身近に知った」



「工場など初めて見学して感動した」などの感想が多く聞かれた。郷土の歴史を知る大切さを強く感じた1日であった。

(掛札 優)

インフォメーション

楽習会(11~2月)

月/日	楽習テーマ	場所
11/11	ふるさと探訪	成沢地区
11/25	芋煮会	会瀬青少年の家
12/9	井戸端会議	女性センター
12/23	年末交流会	シビックセンター
1/13	落語を聞こう	女性センター
1/27	歴史講座	女性センター
2/10	井戸端会議	女性センター
2/24	皆で考えよう J-net	女性センター

- ・芋煮会の案内は配布済です。
- ・年末交流会の案内及び出席確認は後日連絡します。



ちょっといい話 三ツ井 義弘

某日、秋晴れの古房地公園で、海に向かって愛用のケーナを思い切り吹いていた時、自分の方に歩いてくる若者がいた。うるさいとの苦情かと思って少々ビビっていたが、どうやらケーナの音色に興味を持って来たらしい。若者は茨キリの高校生で今日のことを学校で発表したいのということだった。彼は青い空広い海をバックの音色はとてもすばらしかったと言ってくれた。お世辞半分でも嬉しかった。それからケーナについて語り合ったが、最後に「若者に対し何か一言お願いします」と言われしばし戸惑った。気が利いたことはなかなか言えないものである。ケーナが取り持ってくれた若者との初秋のひと時はとても楽しかった。良い発表になってくれることを願っている。

リレー随筆

「807」が主役の趣味が今に生きる 富田 滋男

807という数字をJ-netの中にもご存じの方が2~3人くらいおられるのではないかと思います。昔懐かしい真空管の名前です。

中学生の頃から弱電関係が好きで、鉱石ラジオや真空管式ラジオなどを作って楽しんでいましたが、高校1年の時に電話級アマチュア無線技師の資格を取り、開局したとき送信機の最終段に使ったその当時最も人気のあったST管型真空管の名前です。当時アマチュア無線は一級アマチュア無線技師と二級アマチュア無線技師の2つのクラスしかなく、東京の中野高等無線学校に行き試験を受けるのですが難しく受かりませんでした。昭和34年に一段やさしくした電話級と電信級の制度が出来、電話級の資格をとりやっと仲間入りが出来ました。当時はアマチュア無線の人口は少なく、普及を図りたいと当時の日本アマチュア無線連盟が郵政省に働きかけ出来た制度です。

開局したときの送信機や受信機はすべて手作りで、部品は東京の秋葉原に買いに行きました。今にして思えば、よく作れたと思うと同時に、よく親が金を出してくれたものだと思っております。無線局開局のときは関東電波管理局から係官が測定機器を車に積んでやってきて落成検査を受け、無事合格したときは本当にうれしかったです。

807真空管を使った送信機で日本国内の多くの方々と交信を楽しみました。



今は免許証は無く免許状だけが残っており、また機器も無く電波を出すこともありませんが、昔の趣味が現在いろいろな電子機器のおもちゃ修理に少なからず役立っているのではないかと感じております。

写真は昭和36年ごろの我が無線局の様子です。

「シニア地域活動入門講座」修了・新入会員

平成22年度の入門講座が9月22日の閉講式をもって全10回の講座を終了しました。受講された方たちより、有意義な講座だった、楽しかったとのご感想を頂きました。

地域の様々なことを学びたいと入会されたのは右記の4名の方々です。よろしくお願いします。



水庭一恵さん
本宮町



片寄須賀子さん
会瀬町



岡田泰典さん
会瀬町



松野道夫さん
会瀬町

【編集後記】シニアライフを豊かに生きるためにJ-netを興して16年、もの忘れが多くなった昨今ですが、好奇心はますます盛んで、まさにサムエル・ウルマンの「青春」です。この「青春」を続けられるのは、J-netの仲間や地域の皆さんのお陰であり深く感謝しています。また、感動と感謝の気持ちで制作した『日立村物語』のお陰で更に多くの方たちと知り合いました。こちらは緒についたばかりであり、あと数年は頑張らねばならないと考えています。

発行：熟年ネット・ひたち
代表世話人 掛札 優
編集：広報グループ
住所：〒317-0072
日立市弁天町2-12-10
Tel/Fax：0294-21-1345
E-mail:jnet-hitachi@lapis.plala.or.jp
http://www10.plala.or.jp/j-neth/